

護持会広報

編集・発行 放光院護持会広報担当

作成日 2023.12.6

今年は弘法大師さま（空海）生誕1250年の年です。

NO2

88ヶ所石仏巡りの石仏の頭部や土台の修復が必要な数は30体を超える修繕について放光院護持会総会で承認を受けて以来、その準備や協力業者との打合せ等を経てようやく修繕作業に着手することができました。



12月6日（水）午後1時より護持会運営委員会のメンバー5人が、この日は3・4・7・8・10・14番の石仏を修復

しました。境内に設置されている破損した石仏を使って、金棒で胴体と頭部を固定しながら石を加工する時に使用する特殊な接着剤で固定するシュミレーションを行いました。



頭部には下部中心に穴が開けてあるので、胴体と同じ大きさの穴を電導ドリルであけました。胴体と頭部は正面を決めて接着剤で固定する。ところが胴体

の上部は形状破損の為、コテで凹凸を平らにならします。ところが固まる迄に時間がかかります。その上に頭部を載せると安定しない。土台が固まり頭部が固定されるまでは支えが必要です。その為にビニルテープや竹杭で固定しました。接着剤が固まる迄は乾燥させる為にビニル袋で覆いました。



放光院本堂三仏のうちの二仏夜久野高原八十八ヶ所の石仏は、四国八十八ヶ所と同名の弘法大師座像と観音像が設置されています。夜久野高原の石仏を巡礼すると、四国のそれと同じ功德が得られます。

弘法大師像

観音立像

夜久野高原の石仏創設時期は、江戸時代の文化13年（1816年）に日置村の住人が弘法大師像一体を刻んだのが始まりとされています。この補修事業は、夜久野高原八十八ヶ所石仏巡り創設から実に207年ぶりとなります。合わせて今年には弘法大師様

生誕1250年の年にあたり、寺ノノボリ汁土師様に関わ



10番



14番